



令和六年 新年祝賀会を開催

1月5日(金)、田川市民会館において、会員事業所をはじめ、地域各関係団体等より約130名の参加者が集い、恒例の新年祝賀会が開催され冒頭に能登半島地震の犠牲者に黙とうをささげました。

祝賀会は津島副会頭の開会のことばに始まり、出席者全員で国歌を斉唱、続いて主催者を代表し亀川会頭が新年のあいさつをいたしました。

最初に、能登半島地震で被災された全ての皆様にご心よりのお見舞い申し上げた後、あいさつに入り、昨年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられ、さまざまなイベントが開催されるようになり「川渡り神幸祭」では服部県知事を迎え25万人以上の来場があり大盛況であったことを述べました。

続いて、当所福祉厚生委員会が中心となり開催した「永年勤続表彰式」も多くの従業員の方に参加いただき大盛況であったこと、また当所観光文化委員会が中心となり長きに亘り実施し

てきた市民公園のボランティア清掃活動が認められ、国土交通大臣による表彰を受けたことについて報告しました。

続いて、『プレミアム付商品券(たがわ元気再生振興券)』に関しては福岡県の指導の下、一部電子チケットとなり、事業所や消費者の方にはご迷惑をおかけしましたが時代の流れであることの理解を求め、その経済効果は確実に広がっていることで、引き続き発行できるように今後も国、県、市に要望を出していくと述べられました。

さらに、昨年10月からインボイス制度が始まり今年1月からは電子帳簿保存法が導入されますが田川商工会議所では税務相談をはじめ、事業所に役立つ相談窓口があるので気軽に相談に来てほしいと述べました。

また、女性会の活動については平成豊鉄道のことで列車でのお見送り事業の実施、青年部については、来年度福岡県で開催される全国大会に向け県連会長を輩出し、活発な事業活動を

実施していると報告しました。

最後に、災害や事故など激動の2024年を感じさせる事柄が起こっておりますが田川商工会議所は関係各位の皆様のご協力をいただきながら、役員議員及び事務局が一体となつて邁進してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸を祈念いたしますとあいさつを締めくくりました。

その後、参加者を代表して、村上市長の挨拶のあと歓談に入り、出席者は新年の抱負やお互いの近況などを語り合いました。最後に加納副会頭による閉会のことばで祝賀会を盛会裏のうちにと終了しました。



新年の挨拶



田川商工会議所

会頭 亀川 寿

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当所の事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、3年にわたったコロナ禍に伴う様々な制限が順次緩和・撤廃され、5月にはその位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類感染症に変更され、感染対策は個人の選択を尊重し自主的な取組をベースとしたものと変わり、経済情勢は個人消費、設備投資などの内需を中心にコロナ禍による落ち込みから、緩やかに回復が続いておりますが、物価高騰がこのまま継続すれば消費低迷のリスクも懸念されます。また、夏季より各地で夏祭り等が本格開催されるようになり、田川地区においても神幸祭が4年ぶりに開催されるなど、地方都

市間での人流は増加し、旅行や外食といったサービス消費は回復傾向にあります。その反面、飲食業や製造業をはじめとした多くの業種において人手不足が成長を抑制する課題となっており、今後は省人化、AI活用等のイノベーションや多様な人材の活用などを通じて、経済社会構造の転換を図る必要に迫られています。

一方、海外の動向に目を向けると、ロシアのウクライナ侵略や中東情勢の緊迫化は世界の分断を深め、各国が新しい世界を目指し果敢な挑戦を始める大転換の時代にあります。我が国においても、30年ぶりの高水準の賃上げ、過去最大の民間投資など、日本経済は明らかに動き始め、政府においても令和6年度与党税制改正大綱を決定、中小企業の構造的・持続的な賃上げや成長投資を力強く後押しする税制措置が数多く講じられ、四半世紀続いたデフレからの脱却

に向けた絶好のチャンスを迎えています。この動きを止めることなく、働けば報われると実感できる社会、新しい挑戦の一步を踏みだそうという気持ちが生まれる社会、こうしたマインドが地方や中小企業にまで浸透するような社会を築くことが求められています。

そのような中、田川商工会議所では、地域の発展と企業の健全な成長を支えるために、自己変革力や潜在力を引き出し、一歩前に踏み出そうと挑戦する中小企業や小規模事業者に対する経営力再構築伴走支援を推進、さらに昨年10月から導入されたインボイス制度については、制度施行前の普及啓発を行い、各々の事業所に適した支援、相談対応に取り組んだ結果、令和5年の1年間で50事業所を超える新規会員の入会を頂きました。

平成21年度より発行している「プレミアム付き商品券（たがわ元気再生振興券）」に関して

は、令和2年度から引き続きプレミアム率を30%に引き上げ発行いたしました。また、県からの要請により、当所では初の試みとなる「キャッシュレス商品券（たがわペイ）」についてもプレミアム率30%で発行、たがわ元気再生振興券、たがわペイ併せて総額2億円を発行し、どちらも販売予定数を超える応募を頂き、抽選販売を実施いたしました。振興券発行については、広く地域住民の間で定着して、市内商工業者、商店街からも継続を望む声が強くなりますので、今後も引き続き要望してまいりますと存じます。

当所では令和5年度に、いくつか新たな事業にも取り組みました。ひとつは、人口減少と高齢化の進行、さらにコロナ禍による影響から中小企業、小規模事業者の最大の経営課題は人手不足であり、特に飲食店での従業員離れが深刻化していることを受けて、飲食店人材育成マネジメント事業を実施、飲食店管理職のスキルアップ、職場環境の改善を目的とした講習会、個社支援を実施いたしました。今後は、飲食店に限らず、人手不足の課題解決に向けた支援事業を実施したいと考えております。また、近年、大規模な自然災害が全国各地で多発しており、加えて、新型コロナウイルス感染症などの自然災害以外のリスクも顕在化しています。こうした中で、自社の災害リスクを認識

し、防災・減災対策を講じることは大変重要であることから、田川市と共同策定した事業継続力強化支援計画に沿って、災害リスクや対応策の周知、自社における災害対策の第一歩となる事業継続力強化計画の作成を具体的に進めるための講習会の実施、計画書作成の無料専門家派遣制度の周知啓蒙を推進いたしました。

令和5年の世相を表す「今年の漢字」に「税」が選ばれました。一年を通して増税の議論が行われたことに加えて、所得税などの定額減税が話題にのぼったことのほか、インボイス制度の導入やふるさと納税のルール厳格化など、「税」にまつわるさまざまな改正や検討が行われたことが理由であるようです。当所におきましては、インボイス制度等に関する税務相談のみならず、経営の助言や支援を通じて、持続可能な成長、新たなビジネスの創出や既存事業の改善を支援し、情報発信や巡回相談をさらに強化し、皆様のお役に立てるよう心掛けてまいります。

田川商工会議所は、これから関係各位の皆様のご協力をいただきながら役員職員及び、事務局が一体となって邁進してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新年が皆様にとつて、ますます輝かしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

年頭所感



日本商工会議所 会頭 小林 健

明けましておめでとうござい
ます。
2024年の新春を迎え、謹
んでお慶び申し上げます。

時代の転換を図る チャンスの年に

さて、昨年の経済社会情勢は、
内外ともに不透明さと緊迫の度
が増した1年でありました。世
界ではロシアによるウクライナ
侵攻の長期化に加え、中台間の
緊張、イスラエルとパレスチナ
武装勢力間の衝突も深刻化する
など地政学リスクが増大する1
年となり、国内ではアフターコ
ロナで緩やかに景気が回復する
ものの、1ドル1150円前後
の歴史的水準に達した円安や41
年ぶりの上昇率を記録した消費
者物価・エネルギー価格の高騰

の影響、深刻さを増す人手不足
など、依然として厳しい状況に
あります。本年も、先行き不透
明な状況が続くことは一定程度
覚悟しなければなりません。

一方、コロナ禍を乗り越え、
社会経済活動の正常化が加速し
たことで、設備投資意欲が顕在
化し、約30年ぶりの高い賃上げ
が実現されるなど、時代の転換
が萌芽しています。今こそ、デ
フレ経済からの完全脱却、成長
と分配による経済好循環を実現
していく絶好のチャンスにしな
くてはなりません。

政府におかれては、岸田内閣
が掲げる「新しい資本主義」の
成長戦略を確実かつ速やかに実
行に移すことで、生産性向上に
裏付けされたモデルトナ物価
上昇、構造的な賃金上昇を実現
し、持続的な成長型経済への転
換を果たしていくべきでありま

す。短期的利益に拘泥すること
なく、中長期の安定的経済発展
のための「攻めの経済」、すな
わち成長基盤の強化に寄与する
政策に国家資源を集中し、官民
一体となって、グローバル競争
を勝ち抜く足腰の強化を図るこ
とが重要だと考えます。昨年の
総合経済対策では、中小企業の
チャレンジを支援する方針が明
確に示され、エネルギー高騰や
物価高対策に加えて、潜在成長
率の底上げに資する対策も多く
打ち出されました。あとは実行
あるのみです。

「停滞」から「成長」へ

当然のことながら、われわれ
民間も政府に環境整備を求める
だけでなく、「停滞」から「成
長」へとマインドを切り替える

とともに、時代の大きな変化を
的確に捉え、自己変革に挑戦し
ていかなければなりません。創
意工夫に知恵を絞り、絶えざる
イノベーションや事業の再生、
再構築にまい進し、人や設備へ
の投資を活性化させることが、
経済全体としての新たな雇用の
拡大、賃金増、さらなる需要増
といった好循環を産み出すこと
にもつながります。また、原材
料や光熱費、労務費などの原価
を吸収し、適正な利益を確保す
るためには、「取引価格の適正
化」が不可欠であります。引き
続き、「パートナーシップ構築
宣言」の実効性向上に向け、価
格協議・価格転嫁が商習慣とし
て定着するよう、われわれとし
ても粘り強く取り組んでまいり
ます。

125万会員の ネットワーク力を生かす

日商会頭に就任し、1年と2
カ月が経過しました。この間、
副会頭11商工会議所を訪問する
とともに、各ブロックの総会や
青年部、女性の第一線で活動さ
れている会員事業者の皆さまと
意見交換する機会に恵まれ、多
くの示唆を頂きました。この場
をお借りして、心から感謝申し

上げます。また、昨年6月に日
韓商工会議所首脳会議を開催し、
10月には、4年ぶりとなる経済
ミッションを率いてフィリピ
ン・マレーシア・シンガポール
を訪問し、民間経済外交を本格的
に再開しています。「原点は
対話である」が私の信条であり、
本年も可能な限り各地を訪問し、
国内外の皆さまとの対話を重ね
るとともに、経営指導員など現
場により近い方々の声も踏まえ、
活動の軸である「現場主義」
「双方向主義」を実践してまい
る所存です。

われわれ商工会議所の最大の
強みは、全国515商工会議所
125万会員のネットワークで
あり、中小企業が直面する課題
が複雑化する中、このネットワ
ーク力を最大限に生かした行動
が必要です。2025年には大
阪・関西万博が控えており、地
域の多様な主体の連携拠点とし
て、全国的な機運の醸成を図る
とともに、ビッグイベントを新
たな成長につなげていく動きを
強力に後押ししてまいります。
本年も「地域とともに、未来を
創る」理念のもと、地域経済が
再び成長と分配の好循環や豊か
さを実感できるよう、515商
工会議所の総力を結集してまい
りたいと存じます。皆さまの一
層のご支援とご協力を心からお
願い申し上げます。

たがわ元気再生振興券 使用期限・換金期限にご注意ください！



お客様より受け取られた振興券を今一度ご確認いただき、換金がお済みでない場合はお早めに換金くださいますようお願い致します。

使用期限 ▶ 令和6年 **1月31日(水)**

換金日時 ▶ 毎週月曜日(10時～16時)
(祝日の場合は翌火曜日)

換金期限 ▶ 令和6年 **2月16日(金)**

換金場所 ▶ 田川商工会議所

期限後の換金には一切応じられませんのでご注意ください

各店舗1万円以上(振興券10枚以上)から換金受付いたします。
換金条件 ▶ ※令和6年2月1日(木)～16日(金)の間は1万円未満も受付いたします。
※令和6年2月13日(火)～16日(金)は毎日換金いたします。

換金手数料 ▶ **1%** ※会員事業所は、換金手数料がかかりません。

振込手数料 ▶ 商工会議所が負担  今年度より全て振込にて換金いたします。
現金換金はできませんのでご注意ください。

換金方法などご不明な点があれば田川商工会議所までお問合せください

TEL 0947-44-3150

中小企業経営者の
みなさまへ

国が準備したセーフティネット

安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

- 1 経営者のための退職金制度
- 2 掛金は全額所得控除
- 3 受取時も税制メリット

他にもこんな特徴があります。

- 月々の掛金は1,000円から
- 契約者貸し付けの利用が可能
- 共済金の受給権は差押禁止

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

- 1 掛金の10倍の範囲内で
最高8,000万円まで貸付け
- 2 貸付条件は
無担保・無保証人
- 3 掛金は税法上**損金(法人)**または
必要経費(個人事業)に

共済相談室 TEL. 050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00～17:00

令和5年9月から
**オンライン
手続き
スタート**

制度の詳細内容は2次元コード又はホームページからご確認ください。
ご要望の多い一部の手続きについてオンライン手続きが出来ます。

小規模企業共済

小規模共済

検索

経営セーフティ共済

経営セーフティ共済

検索



Be a Great Small.
中小機構

2023.9